

平成17年度計画研究班

「西アジア旧石器時代の行動進化と定住化プロセスの関係」（研究代表者：東京大学大学院人文社会系研究科佐藤宏之助教授）のサハ共和国における調査

平成18年2月10日から2月20日まで、比較資料の調査のため、サハ共和国（ヤクーツク）を訪問した。

サハ国立大学考古学博物館とサハ科学アカデミー考古学研究所を訪問。調査資料：ディリング・ユリャフ遺跡資料（前期旧石器時代）、アラライ文化資料（前期旧石器時代）、キジル文化資料（中期旧石器時代）、チルクヨ文化資料（後期旧石器時代初頭）、デュクタイ文化資料（後期旧石器時代）、新石器文化資料（スウムナギン、ベリカチ、スィアラフ、ウィミヤタフ遺跡等）。

サハ国立大学考古学博物館



サハ科学アカデミー考古学研究所

